



福智町 議会 だより



主な内容

6月定例会報告……………	1ページ
第2・3・4回臨時報告会……	1ページ
委員会報告……………	2～3ページ
一般質問(13議員)……………	4～26ページ

21年7月24日に発生した上弁城地区豪雨災害により、甚大なる被害が起きた事案についてであります。私は、災害現場に最も近いところに居住している議員、また消防団員として、そして災害発生から5年目を迎えたということから、昨年の6月定例議会で一般質問

豪雨災害や突発的な災害発生時に備えて、十分な準備をしておく必要があると考えています。そのためには、消防の防災機材の充実を図り、防災計画やハザードマップの見直しを行い、しっかりとした防災力

7月24日の防災の日
本年7月24日は、災害発生からちょうど5年となります。町として、何か計画を考えていますか。

平成26年6月1日現
各消防団の定数と実数は、どのような状況ですか。

現在、最も重視されているのは、役場の職員で構成されている本部分団だと思えます。役場職員は常時庁舎に勤務し、多数の形式となっており、しかも圧倒的に町内居住の職員が多く、地域住民と密着な関係を持っており、さらに町内の地理・地形に詳しいと思います。可能な限り、消防団は地元で働いている方が加入できるように推進し、役場の職員はさらなる組織力を高めていただきたいと思います。



堀江政洋 議員

福智町防災の日

質問に入る前に、平成21年に発生した上弁城での豪雨災害、また東日本大震災、福島原発災害、そして近年、日本各地で起きている自然災害などで、被災された多くの方々に、1日も早い平穏な日々が送られますよう心からお祈りいたします。

質問に入る前に、平成21年に発生した上弁城での豪雨災害、また東日本大震災、福島原発災害、そして近年、日本各地で起きている自然災害などで、被災された多くの方々に、1日も早い平穏な日々が送られますよう心からお祈りいたします。

豪雨災害や突発的な災害発生時に備えて、十分な準備をしておく必要があると考えています。そのためには、消防の防災機材の充実を図り、防災計画やハザードマップの見直しを行い、しっかりとした防災力

防災訓練については、自主防災組織がある地域に声をかけ、防災訓練をする際は、町も協力して一緒に行いたいと考えています。そして、その時に住民の方には積極的に参加していただきたいと思っています。

現在、最も重視されているのは、役場の職員で構成されている本部分団だと思えます。役場職員は常時庁舎に勤務し、多数の形式となっており、しかも圧倒的に町内居住の職員が多く、地域住民と密着な関係を持っており、さらに町内の地理・地形に詳しいと思います。可能な限り、消防団は地元で働いている方が加入できるように推進し、役場の職員はさらなる組織力を高めていただきたいと思います。

町政に聞きたい

ここが聞きたい

補正予算の内容

今回の補正に納骨堂補修工事に浄万寺(方城地区)が入っていないが、ここは、行く道中が昼間でも暗く、全く整備されていない。何か整備はできないのか。
答 現地を確認し、検討する。
問 ファミリーサポートセンター業務試験実施委託料の説明を。
答 保育所への送迎や一時的な預かり等を行う事業で、社会福祉協議会へ委託し、事業の検討・体制整備等を進める。
問 市場第二学童クラブ新築工事の説明を。
答 待機児童が多数いるため、新築工事を行う。
問 増設する場所は。
答 学校教育課・市場小学校と協議をしていきたい。
問 去年可決された重度障害者医療費の助成は、各医療機関に通知しているのか。
答 今月行う予定。
問 22区北町貯水池(赤池地区)の排水路の水が、家の中に流れ込んでいる。何か対策をお願いしたいが。
答 施設整備費で対応したいと考えている。
問 道路の水道管入れ替え工事の際、安全対策をまったくしていなかった。今後の対策を求める。
答 業者に指導をし、今後そのようなことがないように努める。



▲委員会審議風景

その他の案件

意見 「ゴミ袋が破れやすい」との意見をよく聞く。何か対策をお願いする。
問 国土調査が終わっていない土地は、どのような税措置が取られているのか。
答 登記簿上の面積によって課税している。
意見 不公平感が出る。早急に国土調査を終了させるように。

産業建設常任委員会

委員長：日比生洋一 副委員長：高津鶴己
委員：山本貢・原田幸美・属公弘・安永榮一

補正予算の内容

議案審議をする前に、現場視察を行いました。
問 今回補正予算で計上されている文化財保護費の主なものは。
答 史跡城山横穴群の公有地化に伴う土地鑑定評価や用地買収、家屋補償等がある。
問 輝ヶ瀬・水落線の工事内容の説明を。
答 平成25年度の工事部分は400m、平成26年度は50mを予定している。
意見 早期完了を強く要望する。



▲輝ヶ瀬・水落線(上野地区)

▲職員区4号線・5号線(伊方地区)

在で、定数395名に対して実数364名となっており、31名の団員不足です。

定員割れをしている分団もありです。できれば、地元で働いている方が消防団へ加入できればよいのですが、難しい面もあるようです。しかし、ぜひ加入を推進していただきたいと思います。

また、現在、最も重視されているのは、役場の職員で構成されている本部分団だと思えます。役場職員は常時庁舎に勤務し、多数の形式となっており、しかも圧倒的に町内居住の職員が多く、地域住民と密着な関係を持っており、さらに町内の地理・地形に詳しいと思います。可能な限り、消防団は地元で働いている方が加入できるように推進し、役場の職員はさらなる組織力を高めていただきたいと思います。

構成している本部分団について質問します。本部分団は、独自の強化訓練、初期消火に対する機械器具などの確保はできていますか。

【総務課長】

初任団員は、各分団と同じく新入団員教養訓練を行っています。また独自の訓練として、ゴムボートを使った水難救助訓練等を考えています。初期消火の設備として、消火器等の器具は、各分団の格納庫等に配備しています。また消防ポンプ自動車については、20年ごとの買い替えとしており、今年度は第10分団の買い替えを予定しています。この買い替えが終わると、各分団に消防自動車の更新配備ができた状況になります。

器具等はしっかりと整備し、団員の体を守る

たいと思います。

次に、田川地区消防団、また金田分署との連携はどのようにしていますか。

【総務課長】

分署から消防幹部会へ出席していただいたり、各種行事や訓練等で消防署職員の指導を仰ぎ、防災への助言をいただいています。また火災現場においては、消防署と消防団が協働して消火活動にあたっています。災害発生時には、消防署、消防団、役場と情報を共有し、連携して対応にあたっている状況です。

防災無線は建物火災のときは流れています

が、山火事などの場合は流れていないようです。防災無線はどのような流れをされているのですか。

【総務課長】

田川地区消防本部から直接、防災無線が使われ流れています。田川地区消防本部に確認をいたします。

第7分団格納庫の状況

【町長】

質問しましたが、老朽化が進み、壁も落ち、雨漏りも激しく、トイレも全く

使えない状況となっております。格納庫の前は弁城小学校があり、通学路となっております。壁にひびが入り、今にも落ちそうな状況です。昨年は応急処置として、危険防止ネットが張られました。しかし、それ以後は、何の進展もしていません。今後、どのような対処をしますか。

【総務課長】

外壁が崩落してしましたので、昨年の11月に補修工事を行ったところです。今後は、トイレの改修や雨漏り等を、予算の範囲内で対処していきたいと考えています。

格納庫が建っている土地は、町有地ではありません。このような問題から、移転してはどうかと思

【町長】

慎重に検討したいと思います。

現在、駐車場もなく、車を止めるにも苦慮しています。一番近い場所

に、ふじの湯の温泉の駐車場があります。この一角に移転できれば、車を止めることができ、防災訓練のときも場所が確保できます。ここへの移転の考えはありますか。

【町長】

目的外使用となりませんので、ふじ湯の里とも検討し、慎重に対処していきたいと思っています。

方城支所の今後

【町長】

現在、売却は考えていません。今後、赤池支所の活用もあわせて、十分検討し、早急に結論を出したいと思っています。

方城支所は平成9年に工事を着工し、平成11年に多大なる費用をかけて完成しました。

私は昨年、議員研修で防災学習施設に行きました。

この施設は、住民が災害を学ぶ・体験する・備えるをキーワードに設立され、安全・防災を重点として、住民と協働した自助、共助、公助による防災事業となっています。

【町長】

福智町でも集中豪雨による大災害が発生し、防災意識が高まっています。町民の安心・安全のため、方城支所を防災センターとして活用してはどうかと思

【町長】

方城支所の一つの活用の仕方として、参考にさせていただきます。

また参考までに、大任町では道の駅にドッグランなどの施設を整備する予定があるようです。これも施設としての活用方法になり得ると思

【町長】

教育改革



朝部 壽 議員

少人数学級を推進する

ため、毎年約8千万円を投じ、平成18年度から平成25年度までの8カ年で、約6億4千万円投じています。今後、続けていくことに反対ではないのですが、学力向上などのために、具体策は考えていますか。

【教育長】

現在、町の任用講師として16名を各学校に配置しています。私の考えとしては、学校自体の力、運営の正常化をきちんと整理していきたくて考えています。というのも、学校の先生たちの力量や質などが上がれば、各学校の力量を上げることにもつながります。このことにより、

任用講師の減数にもつながるかと思

【町長】

今年、人口減少が進む中で、しっかりとした教育の充実に努めていきたいと考えています。単に学力向上だけに努めるのではなく、人間育成を行い、色々な側面から総合的な人づくりとしての施策を考えていきたいと思

【町長】

れ以外にもたくさん放置した問題があります。今後の対策、また進捗状況をお聞かせください。

【総務課長】平成24年度に田川県土整備事務所が現地調査を行い、対策を検討するための図面ができています。その対策図面に基づいて、町・地元などと協議をしています。急傾斜に該当するには、傾斜角度が30度以上、被害想定家屋の人家が5戸以上あることが必要で、22区については一体的な急傾斜にはなりません。県が指定する急傾斜の一部になるとの返答をもらっています。

【問】県は、約150m認定しています。福智町で一番最初に急傾斜地の災害適用地域をとったのは私であり、私の家の裏です。福智町となり、防災の日を制定する町になっていきます。防災の日を設定している市町村は、全国でも6市2町しかありません。それな

【問】県は、約150m認定しています。福智町で一番最初に急傾斜地の災害適用地域をとったのは私であり、私の家の裏です。福智町となり、防災の日を制定する町になっていきます。防災の日を設定している市町村は、全国でも6市2町しかありません。それな

【問】県は、約150m認定しています。福智町で一番最初に急傾斜地の災害適用地域をとったのは私であり、私の家の裏です。福智町となり、防災の日を制定する町になっていきます。防災の日を設定している市町村は、全国でも6市2町しかありません。それな

に、対策が遅れていませんか。

【総務課長】現地在、赤池第9区会および第10区会の土地となっており、土地の所有者と地縁団体としての所有者と協議をしているため、遅れている状況があります。

【問】認可地縁団体は、町長の職務権限の中になりませんか。急傾斜では、水の放流などをしてはいけませんと決められています。しかし放流をしていません。排水すらありません。法律違反ではないですか。そのまま放置して、雨が降るたびに住民は避難しているのです。地元はどうすればいいのですか。地元住民は自助、共助は十分していません。公助を求めているのです。区を告発すればいいのですか。町民が町民を告発するのですか。そういう問題を起こさせないために、町に相談をしているのです。最初に消防団がシート

【問】認可地縁団体は、町長の職務権限の中になりませんか。急傾斜では、水の放流などをしてはいけませんと決められています。しかし放流をしていません。排水すらありません。法律違反ではないですか。そのまま放置して、雨が降るたびに住民は避難しているのです。地元はどうすればいいのですか。地元住民は自助、共助は十分していません。公助を求めているのです。区を告発すればいいのですか。町民が町民を告発するのですか。そういう問題を起こさせないために、町に相談をしているのです。最初に消防団がシート

【問】認可地縁団体は、町長の職務権限の中になりませんか。急傾斜では、水の放流などをしてはいけませんと決められています。しかし放流をしていません。排水すらありません。法律違反ではないですか。そのまま放置して、雨が降るたびに住民は避難しているのです。地元はどうすればいいのですか。地元住民は自助、共助は十分していません。公助を求めているのです。区を告発すればいいのですか。町民が町民を告発するのですか。そういう問題を起こさせないために、町に相談をしているのです。最初に消防団がシート

を張ってくれましたが、あれからすでに4年が経過し、放置されたままです。この問題は町民の生命・財産に関わることです。早急に対処をしていただきたいと思いがすが。

【町長】地元の方がお困りであることは承知しており、この問題を放置しているわけはありません。9区・10区の財産区という中で、町が問題を解決していくには、課題がある状況であり、住民の安全・安心な生活を守るという観点からも検討を重ねています。今後については、問題を解決していかなければならぬと心得ています。

【問】認可実施団体もメリックトは十分共有したと思いません。町に協力すべきです。認可権は地方自治法で、町村長にあります。認可地縁団体であり、法人化しているわけです。急傾斜地倒壊による災害の防止に関する法律で、水を放流す

【問】認可実施団体もメリックトは十分共有したと思いません。町に協力すべきです。認可権は地方自治法で、町村長にあります。認可地縁団体であり、法人化しているわけです。急傾斜地倒壊による災害の防止に関する法律で、水を放流す

【問】認可実施団体もメリックトは十分共有したと思いません。町に協力すべきです。認可権は地方自治法で、町村長にあります。認可地縁団体であり、法人化しているわけです。急傾斜地倒壊による災害の防止に関する法律で、水を放流す

るなどをしてはいけないのに、法律違反を犯してしまっています。このことをどう思いますか。

【総務課長】急傾斜地の所有者の9区会・10区会に対しては、今後も引き続き協議を重ねていきたいと考えています。排水についても、今後検討します。

【問】早急に排水だけでも対処してください。何のために防災の日を設定したのですか。国・県の補助金を取るなどの指導をしてください。今年度、急傾斜地に対して、県に7,000万円来ています。県に話をしに行きましたか。

【総務課長】県全体で7,000万円の予算があると伺っていますが、県内で分配しないといけないため、1町あたりに充てる金額は少ないと聞いています。

【問】全国で防災の日を定めている市町村は、6市

2町村しかありません。福岡県内で防災の日を定めている市町村はありますか。

【総務課長】福智町だけです。

【問】防災の日を定めている福智町が、なぜ防災予算を強く要求しないのですか。国土強靱化もあり、元々臨時交付金もあります。県土整備事務所が調査に入り、すぐに認定されています。町が主体となり、県が半分補助金をつけますと

【町長】きちんと調査をしたので、少し時間をいただきたいと思っています。

【問】急に解決してください。信頼関係がなくなっています。速やかな対応をお願いします。

今、質問した以外にも、通学路およびゴミ焼却場に

通学路およびゴミ焼却場

【問】このような問題は、早急に解決してください。信頼関係がなくなっています。速やかな対応をお願いします。

今、質問した以外にも、通学路およびゴミ焼却場に

についても質問する予定でした。通学路に関しては、常任委員会で答えていただきましたので、今後の対応をよろしくお願いいたします。また焼却場に関しては、別の機会に質問いたします。



篠原茂幸 議員

公契約条例の制定

【問】公契約条例は、行政が行なう工事や業務委託で働いている労働者に、適正な賃金を支払うためのものです。全国の自治体で広がっており、近隣の市町村では直方市が制定しています。直方市では、賃金が一定化し、すぐれた技能者が集まってくるということ

【問】公契約条例は、行政が行なう工事や業務委託で働いている労働者に、適正な賃金を支払うためのものです。全国の自治体で広がっており、近隣の市町村では直方市が制定しています。直方市では、賃金が一定化し、すぐれた技能者が集まってくるということ

で、経営者も含めて歓迎をされているところですが、停滞から前進を掲げて当選をされた嶋野新体制にとつて、最もふさわしい取り組みになると思います。町長の施政方針を見ましても、入札制度が変わっています。働く人たちが安心して働く施策が今求められています。町長の見解をお願いします。

【町長】公契約条例は、全国自治体の中で15の自治体を実施しているようです。福智町としても、労働者の適正な賃金水準、そして労働条件の確保は十分しなければなりません。しかし、条例制定自治体は市及び東京特別区の自治体となっており、町村の実施自治体がない状況です。また施行されて間もないため、条例のメリット、デメリットの議論や検証が不十分であると認識しています。この条例を制定するには、競争入札の際、

【町長】公契約条例は、全国自治体の中で15の自治体を実施しているようです。福智町としても、労働者の適正な賃金水準、そして労働条件の確保は十分しなければなりません。しかし、条例制定自治体は市及び東京特別区の自治体となっており、町村の実施自治体がない状況です。また施行されて間もないため、条例のメリット、デメリットの議論や検証が不十分であると認識しています。この条例を制定するには、競争入札の際、

【町長】公契約条例は、全国自治体の中で15の自治体を実施しているようです。福智町としても、労働者の適正な賃金水準、そして労働条件の確保は十分しなければなりません。しかし、条例制定自治体は市及び東京特別区の自治体となっており、町村の実施自治体がない状況です。また施行されて間もないため、条例のメリット、デメリットの議論や検証が不十分であると認識しています。この条例を制定するには、競争入札の際、

価格だけではなく、技術力さらには多様な点においても評価を行い、総合得点において落札者を決定する総合評価方式の導入も考えなければならぬと思います。公契約条例に関しては、これから十分に時間をかけて検討していく必要があると思います。

【問】導入すれば経営者の方たちも自覚が高まるといえると思いますので、ぜひ導入をお願いしたいと思えます。

【問】導入すれば経営者の方たちも自覚が高まるといえると思いますので、ぜひ導入をお願いしたいと思えます。

【問】導入すれば経営者の方たちも自覚が高まるといえると思いますので、ぜひ導入をお願いしたいと思えます。

伐採や製造・運搬・販売の雇用も増え、さらには地球温暖化ガスも減ります。現在、燃料の高騰により、温泉施設の燃料代が大変だと聞いています。発想の転換が必要です。太陽光発電や木質バイオマス発電、水力発電などを公共施設に導入し、町おこしを図ってはどうかと思いがすが。

【町長】福智町の公共施設に導入するとすれば、日本におけるバイオマスボイラーの標準的な設備費300キロワットを参考として試算すると、ボイラー本体に3,000万円から4,000万円、工事費に2,000万円から4,000万円、木質ペレット等を貯蔵するタンクが2,000万円から4,000万円、合計7,000万円から1億2,000万円の試算となります。また、燃料として町内の木材を利用すればと

【町長】福智町の公共施設に導入するとすれば、日本におけるバイオマスボイラーの標準的な設備費300キロワットを参考として試算すると、ボイラー本体に3,000万円から4,000万円、工事費に2,000万円から4,000万円、木質ペレット等を貯蔵するタンクが2,000万円から4,000万円、合計7,000万円から1億2,000万円の試算となります。また、燃料として町内の木材を利用すればと

【町長】福智町の公共施設に導入するとすれば、日本におけるバイオマスボイラーの標準的な設備費300キロワットを参考として試算すると、ボイラー本体に3,000万円から4,000万円、工事費に2,000万円から4,000万円、木質ペレット等を貯蔵するタンクが2,000万円から4,000万円、合計7,000万円から1億2,000万円の試算となります。また、燃料として町内の木材を利用すればと

林業の町ではないため、間

【問】このことについては、毎回一般質問をしています。この制度は、福岡県内24市町村、全国では6県556市区町村と広がりを見せています。福岡県の建設労働組合田川支部から

【問】このことについては、毎回一般質問をしています。この制度は、福岡県内24市町村、全国では6県556市区町村と広がりを見せています。福岡県の建設労働組合田川支部から

【問】このことについては、毎回一般質問をしています。この制度は、福岡県内24市町村、全国では6県556市区町村と広がりを見せています。福岡県の建設労働組合田川支部から

住宅リフォーム

助成制度の創設

【問】このことについては、毎回一般質問をしています。この制度は、福岡県内24市町村、全国では6県556市区町村と広がりを見せています。福岡県の建設労働組合田川支部から

の請願もあります。田川市、香春町では2012年から導入され、田川市は助成額に対する工事総額が14.6倍、香春町は20.5倍と、抜群の経済波及効果を上げています。予算は田川市が500万円、香春町が250万円です。ぜひ実現していただきたいと思いますが、町長の見解をお願いします。

【町長】

住宅リフォーム制度に関して、福岡県建設労働組合田川支部からの話も伺っています。現在、田川市、香春町では導入されていますが、詳細な状況の調査ができていません。また、田川市では助成の見直しの要望が寄せられていると聞いています。もう少し時間をいただき、検討させていただきます。と思います。

田川市には、もつと利用しやすいように見直しをしてほしいということ、私たちが要望をしています。

乳幼児医療無料化を 中学校卒業までに

福岡県内では、みやこ町のように18歳まで無料の自治体ができています。福智町では皆さまの協力

で小学校3年までの医療費が無料となりました。田川市では今年の10月から、中学校卒業まで医療費が無料になります。子どもの健康や子育て支援、定住促進の点からも早急な助成拡充が不可欠です。同時に、日本共産党は子どもの医療費助成を国・県の責任で実施するよう要望も要求もしています。福智町は小学校3年までが無料化となっていますが、ぜひ拡充をお願いしたいと思います。町長の見解をお願いします。

【町長】

中学校卒業までの無料化は、福岡県内では6市9町という状況だったと思います。田川市は中学校卒業までですが、入院に対してのみ行われていると聞いています。人口減少に伴う子育ての面から考えても検討の余地はあろうかと思えます。状況では、実施するには時期尚早だと考えています。

住宅リフォーム助成制度の創設、また乳幼児医療の無料化を中学校卒業まで拡充するにしても、財政的なものが伴います。私が言いたいのは、比較的自由に使える財政調整交付金などを活用することです。現在、約20億円たまっていきます。住宅リフォーム助成制度だと、少しの額で実現可能となります。乳幼児医療費はかなりのお金が必要となるため慎重にならざるを得ませんが、そのようなお金は活用していくべきだと考えます。

福岡県住みよか事業

福岡県住みよか事業とは、高齢者等に配慮をした住宅へと改造したい方

福岡県住みよか事業とは、高齢者等に配慮をした住宅へと改造したい方

のため補助制度です。助成限度額は30万円となり、おり、助成負担割合は県が2分の1、市町村が2分の1となっています。福智町では300万円の予算措置がされていますが、最高30万円計算すると10軒分にしかありません。これでは不足だと思えます。足が悪くて手押し車を押して買い物に行っているお年寄りが私の近所にもいます。この制度自体、知らない方もたくさんいます。予算枠の拡大及び周知徹底をお願いしたいと思えます。

【町長】

現在の財政状況を考えると、予算を拡大することは厳しいと考えています。しかし、この事業は色々な意味で必要だと思っていますので、続けていきたいとは思っています。また町民の皆様への周知徹底については、福智町のホームページ・広報紙だけでは



辰島誠 議員

教育振興対策

平成18年9月から少人数学級指導を実施し、約8年が経過しましたが、今後も継続するのか、それともある程度の目処が立てば廃止するのか、教育長お答えください。

【教育長】

現在16名の町任用講師があり、中学校3校、小学校4校に配置しています。基礎的な学力の向上を目指して任用していますが、単なる学力の向上だけではなく、生活全般の支援や生徒

一人一人に対する思いやりのある接触などにも、大きな力となっています。この少人数学級をいつまで続けるかは、今のところ決まっています。

教育施策方針の中にある少人数学級指導の箇所では、毎年、基礎学力の向上の推進とありますが、どこを目指して取り組んでいるのですか。というの

も、例えば数学の点数が10点だった子が20点上がったとしても、学力が上がったとなるわけです。いったい基礎学力の目標をどこに置くのが大事だと思います。町長はどう思いますか。

【町長】

一つの目標をしっかりと定めていくことは必要だと思っています。

土曜学級が開催されていますが、昨年度から始めたのですか。

【教育委員長】

昨年から計画的に行っています。

特色ある学校づくりの理解と推進とありますが、小学校5校、中学校3校が、全て違う土曜学級を開催してもよいのですか。そのような方針ですか。

【教育委員長】

年に3回計画していますが、小・中8校がそれぞれ計画しており、その学校が創意工夫した土曜授業となっています。

その学校でしかできない地域性もあります。子どもたちに適した取り組みを今後どのように考えていますか。

【町長】

多角的に総合的な人格の形成を目指さなければならぬと考えています。そのためにも、可能性のある教育の取り組みに関して、積極的に行っていきたいと思います。

一部事務組合立中学校の設立について質問します。町長はどのような考えを持っていますか。

【町長】

今の進捗状況は余り進んでいません。予算面や地元

の中学校・小学校の空洞化などの問題もあります。しかし子どもたちの選択肢の拡大という面からも、考える必要があると思っています。今後は、県がどこまで中高一貫に本気で取り組むのか、状況をしっかりと見定めたいと思います。

【町長】

前年度までの学校給食費の繰り越し滞納額は、累計幾らですか。

【学校教育課長】

約4,400万円です。毎年の滞納額が、400万円〜500万円です。推移しており、全く変わっていません。要するに累積が減っていないのです。微収することができない、不可能な部分も多くあると思えます。昨年の年間給食費は、8校すべての児童生徒合わせて約9,600万円でした。この給食費を、町

なく、その他の方法を通じてもお知らせしていきたいと思えます。

【町長】

非常に厳しいと思えます。教育長施策方針に、使命感に燃える意欲と実践力にあふれる教職員の養成とありますが、説明を求めます。

【教育長】

教職員の資質や力量を高める研修会を行い、学校独自の検証を行ったり、また我々もそこに入り、学校の先生たちの様子を見ることで、意見を述べる取り組みをしていますし、今後も行いたいと思います。

【町長】

子どもを怒ることができると、子どもも良くなると思います。同じ育成をするのであれば、そういった先生を育成すべきではないかと強く感じます。教育委員長は、どのように考えていますか。

【教育委員長】

そのとおりだと思います。

【町長】

私が就任して2カ月半が過ぎましたが、基本的には職員の大半は、私が思っている以上に頑張っています。しかし、その頑張りや、町民の皆様が理解してもらえないという現状があることも事実です。このようなことから、色々な場面を通じて、今職員が何をやるうとして

いるのかなどを、情報発信はしていきたいと思っていますし、また、職員を元気にしたいと思っています。そのためにも、行財政改革をし

【町長】

町長の施政方針から一体感のあるまちづくりに取り組んでいくためには、まず行政職員と住民の信頼関係の構築が不可欠と述べていますが、どのような施策を講じるのですか。

【町長】

私が就任して2カ月半が過ぎましたが、基本的には職員の大半は、私が思っている以上に頑張っています。しかし、その頑張りや、町民の皆様が理解してもらえないという現状があることも事実です。このようなことから、色々な場面を通じて、今職員が何をやるうとして

かりと行い、業務の効率化を図っていく中で、一つの方向性に向けて頑張るんだという気持ちを、醸成していきたいと思っています。そうする中で、おのずと信頼関係が芽生えてくるのではないかと考えています。

問 職員研修は行っていますか。

答 【総務課長】大野城市にある研修所には、新任職員、新係長、新課長などの職員研修のほか、専門的な業務の研修などに参加しています。町の研修としては、今後メンタルヘルス研修を計画しています。

問 職員のメンタル面は大変なことですか。今後も現場職員として、色々な職員研修を行うべきだと思います。

私が役場に電話をした際、きちんと自分の名前を名乗る職員がいます。このようなことから、住民との信頼関係が始まるのではないかと思います。また役場に来た際、挨拶をしない

職員を多く見ます。研修も大事ですが、このような挨拶が行政職員としての基本ではないでしょうか。ぜひこういった研修も行ってください。

次に下田川清掃施設組合について質問します。新聞に嶋野町長のコメントが出ていました。今後、田川市が共同ごみ処理を求めた場合、再検討する考えがありますかとの質問に、町長は、議会に諮るのも選択肢の1つとありましたが、これは町の議会ですか、それとも下田川清掃施設組合の議会ですか。

答 【町長】下田川清掃施設組合の議会です。

問 田川市長も川崎町長も独自でおこなうと言っています。下田川清掃施設組合で運営することについての町長の考えをお答えください。

答 【町長】今後は、下田川清掃施設組合で進めていくことになるかと思えます。

問 入札制度について質問します。ランダム方式を廃止し、町長が最低価格を設定するとありました。これはどういう理由で廃止したのですか。

答 【町長】まず、ランダム係数というものが、よく分かりませんでした。他町村でも行われていないようでしたので、他町村と同じ以前の形式に戻そうということになりました。もう1点は、この入札制度の最終責任の所在が私にあるということとを、はっきりさせなければならぬと考えたからです。

問 町長が責任者は自分だと言っていることを聞いて安心しました。大変な部分もあるでしょうが、今後4年間、福智町のかじ取り役としての行財政手腕に期待をして、一般質問を終わります。

町民は役場の職員がきちんとしていないと思ってしまう。町長が職員を指導し、行政職員と住民との信頼関係の構築をしてください。こういうところから住民の信頼は始まると思います。要望書の未回答分については、早急に処理をし、返事を出していないところには早急に返事を出していただきしたいと思います。

問 未回答の要望書について、本当に調査し、進捗しているかが問題なのです。担当課内で確認し合っていますか。なぜ私がこのようなことを言うかという、以前、前町長が多くの町民の声を聞くという取り組みで『タウンミーティング』を行っていました。このとき職員も随行していました。当然、その地域が要望書を出しているらば、要望書についての質問が出ると思ってきました。

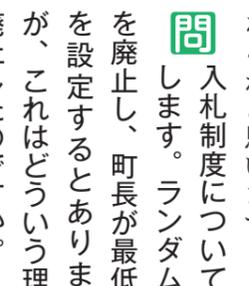
答 【町長】未回答を放置しているようなことはないと思いますが、回答が遅れているものに関しては、再度見直しを行い、できるだけ早く回答するように指示していきたいと思えます。

問 要望書を出した地区に、今こうなっている、これだけ進んでいる、予算はこうなっている、工事は間もなくかかるなどの回答が、全く返ってきていないところもあります。要望書を出しても、何の連絡もないのです。このようなことがあれば、

設組合で進めていくことになるかと思えます。

問 入札制度について質問します。ランダム方式を廃止し、町長が最低価格を設定するとありました。これはどういう理由で廃止したのですか。

答 【町長】まず、ランダム係数というものが、よく分かりませんでした。他町村でも行われていないようでしたので、他町村と同じ以前の形式に戻そうということになりました。もう1点は、この入札制度の最終責任の所在が私にあるということとを、はっきりさせなければならぬと考えたからです。



大島勇夫 議員

総合案内窓口の設置

問 私は以前から、玄関ホールに案内係の設置をお願いしてきました。ようやく、今年の4月1日から案内係が設置されたということで、非常に喜び感謝して

いたのですが、一ヶ月もたないうちに、案内係が撤去されてしまいました。非常に残念に思うわけです。なぜ案内係の設置を要望してきたかという、この案内係を通して、思いやりを持って接することができ、おもてなしにもつながると思っ

たからです。ようやく案内係を設置されたと思っただけなのに、なぜすぐ撤去に至ったのかお尋ねします。

答 【町長】本年4月より案内係として、短時間の再任用職員を2名、本庁玄関に配置しました。しかし、支所等において職員の不足が生じ、案内係の職員を支所業務の応援に当たったため、案内係は休止したという状況があります。今後については、住民の皆様の声、また職員の人数配置を考えながら、再度検討したいと思っています。

問 人数的な問題点があったとのことですが、言いかえれば費用対効果がな

上に必要と認められる重要な事項としてあります。各行政区から出される要望書は、地区内で十分に協議した上で町に提出されていると思えますが、要望内容は口頭あるいは電話で回答できる軽易な内容から、現実的には対応が困難なものまで含まれています。出された要望書は、総務課で受け付けをし、総務課が開封します。その後、町長に供覧し、その写しを所管部署に配付します。要望書の内容が複数課にわたる場合は、総務課が取りまとめて回答します。担当部署に配布された要望書については現地確認、また必要に応じて調査をします。実施については、緊急性・重要性・経済効果・地域均衡などを考慮し、その結果、必要とされる事業に向けての取り組みを進めます。なお、国や県の関係機関が取り扱うものについては、



山本貢 議員

要望書の対応

平成23年度から平成25年度の要望書の数、またそれに対する回答済みと未回答の資料をいただき

ました。その資料によると、3年間で635件の要望書が出されており、回答済みは394件、未回答は241件となっています。未回答となっている課は、特に建設課が多いようですが、この未回答について、

現在どのような取り扱いをしていますか。

答 【総務課長】全体としての要望書の取り扱いについてご説明します。まず、町が要望書として取り扱う事項は、原則、地域における住民活動の向

いとも取れるわけです。長い間お願いして、ようやく設置されたものが、わずか一ヶ月もたずに、いとも簡単に撤去されたのです。喜んでいた方も多数おられました。町長が新しい気持ちで、新しい姿で福智町の町政のために頑張りたいという気持ちがあるならば、人手不足などで撤去はされなかつたと思えます。本当に残念でなりません。香春町役場に行く、案内係の方が気持ちよく対応してくれ、本当に癒されます。こ

こは、4人体制の2時間交代で実施しておられます。案内係は町の顔になり、イメージアップにもつながります。福智町の町づくりにもつながるわけです。もう一度、福智町の顔、案内係の設置をお願いして次に移ります。

老老介護と認知症問題

問 老老介護や認知症問題は、このごろ盛ん

に新聞等で取り上げられていて、国勢調査によれば、全国の65歳以上の夫婦のみの世帯数は、2000年の283万世帯から、2010年になると433万世帯と急増しています。福智町ではどのような現状になっていますか。

【保健課長】
福智町の全世帯数は1万1,185です。そのうち高齢者のいる世帯数が5,255世帯で、そのうち高齢者夫婦のみの世帯数が1,244世帯となっています。

問 私も70の坂を越して、ようやくその老老介護という意味がわかってきたような感じがします。あなた100まで、私は99までという言葉があるように、お互いがやはり健康に気をつけて、いつまでも長生きしていきたいと願うわけです。昔は片一方が倒れば、年をとった中でも、どちらかが介護をする姿が夫婦の姿でした。今の御時

勢は、国が色々な面で介護に力を入れています。これからは、どちらかが倒れたときには、施設等の利用も話しておくべきだと思います。いずれにしても健康が一番です。特に行政が民生委員や社協などと手を組み、しっかりとそのあたりの把握を行い、常に目配り・気配りをしていただきたいと思います。次に認知症についてお尋ねします。福智町の認知症の方の人数を把握していますか。

【保健課長】

介護認定を受けた方たちの中で、1,104人が認知症と認定されています。またニーズ調査を行った結果、612人が認知症の疑いがあると捉えています。しかし回収率が57%だったため、100%の回収率であれば、もっと人数は増えると思います。

問 行政でもしっかりとした手立てを考え、福祉に一層の目配りをお願いします。

施政方針を聞いて

問 町長は、後援会や連絡所の看板等に停滞から前進へとキャッチアップを掲げ、選挙戦を戦ってきたと思います。町長が考える停滞とは、何を指していたのですか。

【町長】

合併後の行財政改革が進んでいない状況と、各旧町においていまだに一体感が生まれていない状況が、停滞であると考えています。合併したことにより、町民の皆様の中に活力・希望などが、非常に希薄になったと感じています。

問 町長の施政方針を見ると、前向きな姿勢ではなく、前町長の掲げていたことに対して、むしろ逆戻りするような印象を受けます。前進するというのであれば、何を前進しようとしているのですか。

【町長】

今現在、町民の皆様の

中には不公平感が生まれていると思います。活力ある福智町の再生するには、この不公平感をなくし、多少貧しくとも、お互いがしっかりと助け合え、そしてお互いを尊重し合えるような状況をつくっていくことだと思っています。そのためにも、単に建物の統廃合などを行う行財政改革をするのではなく、本当に町民の皆様にとつて、何が幸せなのか、またどうすれば生きていく希望を与えることができるのかという議論を、しっかりとしていかなければなりません。要求を単純に聞くのではなく、現状の状況をまずは伝え、納得した形の中での行財政改革を行うべきだと思います。

問 今までの一般質問の答弁、また施政方針を見て、いまいच्छい思いがしたものですから、停滞から前進をどのように考えているのかお尋ねしました。

前町長はタウンミーティングを実施してきましたが、嶋野町長はタウンミーティングについてどのように考えていますか。

【町長】

タウンミーティング形式は考えていません。文化連盟や民生委員会、公民館や区長会などの会議等に出させていただく中で、私の考え方を理解していただきたいと思っています。

問 4月に新たな教育長が誕生し、大変喜んでいらっしゃると思います。教育長は、元は行政の職員であり、非常に期待する反面、心配なところもあるわけですが、4年間しっかりと頑張っていたいただきたいと思えます。それでは、中学校の部活

のことで質問いたします。各中学校には部活動があり、放課後等に活動しているわけですが、指導にあたる先生は、時間を割いて指導されていると思います。また土曜・日曜祭日にも関

わらずに指導されており、かなり無理が来ているのではないかと思うわけです。部活動をしている先生は、教科を持ちながら、なおかつ時間外で、スポーツあるいは文化的な指導をされており、時間的にも非常に苦労していると思います。このような状況に対して、何か対応はしていますか。

【教育長】

放課後に、子どもたちと一緒にスポーツあるいは文化的な活動を行う熱意には、本当に頭が下がる思いです。勤務が終わりに、長時間の活動を行い、子どもたちを育成していくことは、体力も必要です。教育委員会としても、支援できることは十分支援していきたいと考えています。今後、各学校の校長等とも話をしながら、先生方の配慮をしたいと思えます。

問 私が、なぜこの質問をさせてもらったかという、過去、部活に力を入

れすぎたがために、家庭サービスができず、家庭崩壊したという話を耳にしたからです。1人体制で受け持っていたため、責任感を感じ、夏休みも部活動に没頭したそうです。一人の先生に負担をかけるのではなく、複数の体制で指導すればよいのではないかと思います。今後、ぜひ検討をお願いします。

次に、社会教育について質問します。私が30代、40代のころは、父ちゃんスポーツと行って、320歳のソフトボールなど、働く人がスポーツを楽しんでいました。今は、高齢化が進んだ中で、なかなか父ちゃんスポーツといったこともできない状況で、非常に沈滞していると感じます。教育長は、長い間社会教育にいましたが、このことについてどのように思いますか。

【教育長】

昔は町民挙げての健

康づくりということで、町政もそこに基本を置いていた時代がありました。そのときはスポーツ人口も多く、文化的な行事などにも参加する人数は大変多かったのですが、今は参加する人数が少なくなりました。これは、地域の教育力、また家庭や地域関係の希薄化、人間関係の希薄化などが根底にはあるのではないかと考えています。また、若者が地域にいないという現状もあります。社会教育を活性化するには、地域の活動を活性化することだと思っています。活性化するためには、人づくりだと思えますので、公民館活動を中心に地域の人材を育てたいと考えています。

問 私も、公民館活動等が薄れてきていると感じています。前町長が、「日本一あいさつのできる町」ということで、キャッチフレーズを掲げていました

が、以前はオアシス運動を

活発に推進していました。現在でも、福岡県の青少年健全会議の中でも取り上げられているのですが、これももう一度、地区公民館連合会を通して復活させれば、活性化への手助けになるのではないかと思います。教育長はどのように考えますか。

【教育長】

オアシス運動が全国的に推進されています。この活動はお金もかからず、手軽な運動だと思えますので、一考したいと思えます。

問 防犯カメラについて質問します。以前にも一般質問で、赤池の勤労者体育館の裏や中央公民館の裏などに、防犯カメラの設置をお願いしていましたが、現在どのような状況ですか。

【生涯学習課長】

今回、中央公民館の前面に設置ということで予算計上しています。裏面と勤



高津鶴己 議員

町発注工事にかかる競争入札

施政方針では、ランダム係数を廃止するとなっていました。従前だと80%、あるいは85%の率の最低制限基本価格だったと理解していますが、近年の例だと95%前後が最低制限基本価格だったと見受けられます。最低制限基本価格だと金額がそのまま出るわ

けですが、ランダム係数をかけることによって、金額が明確に出ないと理解していただのですが、その辺の説明をお願いします。

【町長】

ランダム係数を廃止した理由として、他町村の制度に戻したという状況と、責任の所在をしっかりと示すためです。このことにより、問題が生じることはないと思っています。

【町長】

ランダム係数をかけることによって、決定権者自身も最低価格がはつきりと分からないのではないかと考えています。ランダム係数を廃止すれば、自分が決めた最低価格がはつきりと分かり、責任はすべて町長となります。何か問題が生じないかと心配したわけですが、その辺は大丈夫でしょうか。

【町長】

町長としての責任の範囲だと思っていますし、問題はないと考えています。

す。

長崎県南島原市長が、官製談合防止法違反や競争入札妨害ということ

で逮捕され、結果として市長を辞職されました。福智町でもこのようなことが起きないかと心配をしたわけ

です。

平成27年度以降の入札方式として、電子入札導入は考えていませんか。

【町長】

導入には、インターネット等の情報通信機器の整備が不可欠であり、また業者側にもそういった受け皿がなければなりません。今後、国・県がそのような方向になれば、検討しなければいけないと思っていますが、現在のところ電子入札制度の導入は考えていません。

【町長】

一般競争入札の導入は考えていますか。

【町長】

地域性、中小零細企業の育成、地場業者の育成と会で契約の承認が審議される予定です。県議会でも決まれば、平成29年度完成に向けて、一気に工事が進むと思っています。

【町長】

年度末の滞納額は2億6,000万円あるようですが平成26年度の営業収益は5億5,140万円でした。半分近い金額が滞納額ということでしょうか。

【水道課長】

単年度の未納額ではなく、累積が2億6,000万円ということ

【町長】

一般企業の場合、売上高の半分近くが滞納とは異常なことです。場合によっては貸倒引当金ということ、予算書上特別損失という形で、損失で上げています。信じられない数値だと思ひ、危惧しているわけですが。

【水道課長】

収納状況は平成22年をピークに、徐々に解消には向かっています。

いったこともあります。今後の検討課題として、考えていかなければならないと思っています。

【町長】

随意契約は130万円までですが、それ以上は競争入札となり、500万円以上になると、色々な足かせもあると聞いています。地域性なども理解できますが、ある程度の大規模工事については、一般競争入札も考慮すべきだと思ひます。

【町長】

今後の検討課題として、勉強していきたいと思ひます。

町内発注の推進

【町長】

施設方針で、役場の物品や事業は町内発注を基本とするとあります。合併して色々な方から、福智町となって注文が来なくなったとの苦情や不満を聞きます。特に教育委員会にお願ひしたいのですが、往々にして学校の備品など

は町外の大手業者に注文し、町内業者にまいったく注文してないといったことも聞きます。今後、町長の町内発注が基本ということ

を肝に銘じて、町内業者にも声をかけていただきたいと思ひます。

【町長】

町外業者の方も色々な営業努力をされており、本当に熱心に通われ、値段に關しても努力をしている状況は承知しています。しかし、町内業者の皆さまにも、もう少し努力していただき、町としても町内業者の実態をきちんと把握し、町内発注の方向に向けて努力していきたいと考えています。

遊休地等の有効活用

【町長】

行政目的を必要としない普通財産は、福智町にどれくらいありますか。

【財政課長】

字図混雑地域等もあり、若干の違いが出るかもしれませんが、全区に公表することには考えていません。しかし、一番深い関心があるのは保護者なので、各学校と相談しつつ、各学校が出す学校通信等を利用し、保護者にはお知らせしたいと考えています。

【町長】

城山横穴群が、文化財の関係で予算として計上されています。今回の予算で、どの程度まで整備されますか。

【生涯学習課長】

城山遺跡は、九州でも非常に珍しい横穴式の群集です。222基という横穴は非常に数が多く、文化庁が現地を視察した時点で、国の埋蔵文化財の指定に十分になる得るといふ結果を受け、今回埋蔵文化財の指定を行いました。事業として、平成26年度は家屋補償をメインに考えています。整備計画は5カ年を予定しており、今後は整備検討委員会を立ち上げ、地元行政

ませんが、平成24年度末数値で、692万6,976平米となっています。

【町長】

普通財産の中でも、目的や用途のない処分可能な遊休地はどれくらいありますか。

【財政課長】

財政課として、処分可能だろうと判断する遊休地をお答えします。旧赤池町地域は14カ所、面積にして2万4,876平米、旧金田町域は8カ所、3万7,518平米、旧方城町地域は29カ所、4万1,143平米です。ただし、まだ国土調査が未了な地域も含まれており、確定測量等が終了しないと売買できないという土地もあります。

【町長】

全部で51カ所の処分可能な遊休地があり、町長の方針としては処分していくようですが、いつ頃から実施しますか。

【財政課長】

普通財産は売却すれば町の収入となり、町に区・専門家も交えて、検討していきたいと考えています。

【町長】

福智町には、郷土史が何人かいます。今後、埋もれた文化財も発掘していく必要があるのではないかと考えています。

【町長】

まだ埋もれた貴重な遺跡があってもおかしくないと考えていますので、今後取り組んでいきたいと思ひます。

方城支所の活用方法

【町長】

平成24年12月定例会で、方城支所を売却する発言を前町長がしました。図書館・歴史資料館設置検討委員会では、赤池支所を図書館・歴史資料館にするということ、平成26年3月31日に答申されたこと聞いています。前町長が方城支所を売却すると言ったことから、方城支所は図書館の候補から除外されたこと

【町長】

伊良原ダム完成は平成29年度末と定まっていますが、過去何回も完成時期が遅れた経緯があります。現在の進捗状況をお願いします。

【町長】

県から完成が遅れるという通達はあっていません。またダム本体の入札が4月に行われ、6月の県議

私は思っていました。が、どうなのでしょうか。

【生涯学習課長】
今後の方針は、新しい町長が決定をすると思っています。

【町長】
私は議員になってからずっと、方城支所を図書館、あるいは資料館にしてはどうかと申し上げてきました。方城支所は、建物や外構工事を含めると14億4,800万円かかったと聞いています。この建物を活用すべきだと思います。

【町長】
方城支所は、町民にとって重要な財産であると認識しています。活用に関しては慎重に考え、結論を出したいと思っています。

【町長】
方城支所を活用するにあたってのネックは、2階にある電算室だと思います。電算室を動かすとすると、何億という莫大な金額がかかります。電算室をどこかに動かすのではな

く、そのまま電算室として使いたくありません。他のスペースを活用すればいいのではないかと考えています。合併して8年間、貴重な建物を放置し、無駄に使っていたわけです。私としては、図書館・歴史資料館として使っていたらいいのですが、もしそれが不可能な場合には、ほかの活用方法もやはり考えるべきだと思います。例えば雇用が多く見込めるような企業に入っていたら、売却が無理ならば貸すということもあり得ます。利用方法・活用方法のアイデアを公募し、色々な方からの知恵を借りて、一番良いアイデアを採用すればいいのではないかと考えています。

【町長】
一つの考え方として、参考にさせていただきま

【町長】
早急に結論を出していただきたいと思います。

【町長】
一つは、今年時間がないということ。1回で終了しています。出演団体の中には、出演時間が25分〜30分の団体もいます。これは毎年のことです。こういう長い時間を短縮して、多くの出演者を出したほうがいいと思います。日舞、民謡に関しては、福智町には18団体あります。子どもの育成として言えば、お年寄りの歌などもありま

【町長】
アトラクションの計画などは、車いすテニス大会福智町実行委員会と立案し、決定しています。今年大会は終わりましたが、近いうちに反省会が行われる予定なので、今後の課題にしたいと思います。



木戸勝正 議員

金田小学校運動場の照明球の増加

放課後、金田小学校のグラウンドでは、各スポーツ団体（少年野球、グラウンドゴルフ、サッカーなど）が練習をしています。照明の球が少ないため、暗くて練習に支障を来している状況です。現在、照明柱は2個ありますが、球は4個しかありません。金田の少年野球は、今年で創立38年になります。私が初代監督でチームを結成し、現在の監督は第1期生です。創立した当時は予算もなく、町内の有志の方々に寄付のお願いに回り、その寄付金でユニフォームと用具の一式を購入しまし

た。創立されて以来、今日に至るまで、輝かしい歴史を積み上げて来ました。少年野球は、並ならぬ熱意を持って築いてこられた各関係の御尽力の賜物でもあります。また少年野球はボールが小さく、投げた球が非常に速いものです。選手の手や目に当たるなどの怪我は防がなくてはなりません。事故が起る前の対策が必要で、そのため、早い時期に照明の球を増やしていただきたいと思います。が、見解をお願いします。

【町長】
金田小学校と協議をし、前向きに検討させていただきます。

【町長】
現状を十分把握し、早急に善処したいと思っています。

【町長】
現況を十分把握し、早急に善処したいと思っています。

【町長】
現況を十分把握し、早急に善処したいと思っています。

【町長】
現況を十分把握し、早急に善処したいと思っています。

【町長】
現況を十分把握し、早急に善処したいと思っています。

誕生しました。町の活性化のために福智音頭、福智温泉、福智山笠のCDが作成されています。福智音頭のテーマ曲であり、福智温泉、福智山笠はまちづくりの観光活性化の一環として製作されました。福智音頭のPRについて質問しますが、この福智音頭は夢と希望を心に秘めて生まれ変わった福智町、桜がちらほら膨らむころに福智町が誕生し、記念として町のテーマ曲、福智音頭が作成されました。PRの現況、また今後どのように考えていますか。

【町長】
現在、水と灯火の夕べで活用しています。今後は町の活性化を考えながら、各種イベント等で町の交流人口の増加を図りながら、町づくりの推進につなげていきたいと思います。

【町長】
役場には出先がありません。支所や中央公民館、同和教育集会所、ほのぼの

【町長】
現況を十分把握し、早急に善処したいと思っています。

館、児童館、温泉施設、各公民館などに、ポスターなどを貼ってPRしてはどうでしょうか。私は有線や宣伝カーなどで流したり、各イベントなどでも流しています。みんなボランティアで行っていますので、どうかPRをぜひお願いします。

【まちづくり総合政策課長】
幅広くPR活動しながら、各種イベント等に活用し、町づくりを図っていききたいと思います。

車椅子テニス

福智町国際交歓会

【町長】
毎年、アトラクションでの特定の出演者の出演時間が長いという苦情を聞きます。出演者も毎年、ほぼ替わっています。1団体の出演時間を約15分に短縮し、出演者を増やしてはどうかと思います。旧金田町のときは、最後に選手と一緒に輪になって、楽しく炭坑節を2回踊っています。

【町長】
アトラクションの計画などは、車いすテニス大会福智町実行委員会と立案し、決定しています。今年大会は終わりましたが、近いうちに反省会が行われる予定なので、今後の課題にしたいと思います。



磯崎正榮 議員

財政計画

【町長】
合併後の10年間は、地方交付税は旧3町の合計額で交付されていると思います。しかし11年目以降になると、ひとつの町として、5年間で徐々に減額されることになると思います。交付税額は現在と比較してどれだけ減額されますか。また経常収支比率についてもお答えください。

【町長】
普通交付税は、平成28年度まで合併算定替えが100%参入されます。その後5年間で段階的に引き下げられます。また本年度より、合併団体には新しい加算基準が設けられていますが、まだ内容は判明していません。

ただ、毎年の一本算定からすると、現在は約10億円の交付税が加算されているようになっていますが、総務省は算定替えの延長はないと明言していますので、加算、合併特例債、過疎対策事業債も平成32年度まで、平成33年度以降が福智町の真価が問われる形になると考えています。

経常収支比率は、去年の数値で96・4%、合併以後93・1%が一番低く、通常は85%程度が理想的な数字です。現在は臨時的な収入で、歳入歳出のバランスをとっている状況です。

問 平成33年度から厳しい状況になっていきます。経常収支を減らし、投機的な部分で町を再生していかなければなりません。

平成29年度までの中期計画、財政計画を立てています。最終的には平成33年度が、最終的な目標値となるのではないかと考えています。この計画には、歳入の財

源確保と義務的経費・投資的経費と2つあります。福智町の財政力指数は0・25%と、非常に自主財源が少ない町です。自主財源を確保していくためには、使

用料や手数料の適正化、徴収率の向上、未利用財産の有効活用、地方債の適正化などがあげられています。また歳出は、人件費の抑制、消費的経費の削減、事務用品の集中管理、冷暖房

設定の集中管理、電気使用料の削減、委託業務の再点検、補助金の見直しなどがあげられています。これは、平成29年度までの立派な目標なのですが、どのような方法で、いつまでに、誰が、どの部署が、年何%削減するのかなど、具体的な方法が示されていません。これをしないと、福智町の財源は持たないと思います。目標を決めて、1年ごとに

見直すことが必要ではないかと思いますが、今後どのように考えていますか。

答 中期財政計画は、単体では活用できないと考えています。町の総合計画と行政改革大綱がトライアングルになって初めて機能します。具体的な数値目標は、集中改革プランで示すべきだと思っています。

問 目標がないと実行に移せません。その数値を明確にしていくことが大事だろうと思います。

計画書にPDCAサイクルと載っていましたが、すなわちP(プラン)D(ドウ)C(チェック)A(アクション)、これがひとつのサイクルとなり、物事を進めていくわけです。このサイクルをきちんと回し、立派な中期計画が、絵に描いた餅とならないようにお願いします。

答 中期財政計画があることは確認していますが、まだ精査ができていません。諸計画との整合性も含

め、できる事できない事をしっかりと精査しながら努力していきます。

介護ボランティア

問 日本はかつてない高齢化社会を迎えます。2025年、団塊の世代が後期高齢者に入ることが予想されています。

福智町は高齢者が平均自治体よりも多く、高齢者は健康に過ごしたいと思っています。介護の重症化を防ぐため、介護予防教室などがあります。参加しない方も多くいます。

そこで65歳以上で介護サービスを受けてない方を対象に、社会参画の誘因の事業を提案します。この事業での自主型参画を促すことで、介護予防の効果が期待されます。

65歳以上の人が介護保険施設で、レクリエーションなどの指導や参加や支援、お茶出しや食堂への配膳や

補助、散歩や外出の補助、行事の会場設営や運営等の手伝い、話し相手などボランティア活動を行った場合に、ポイントが得られて、そのポイントが年1回換金できる仕組みです。

介護認定を受ける前の方(一次予防者)を元気にしようという制度で、篠栗町は平成21年から始めて6年目に突入しました。添田町は、今年の7月からこの制度を発足させようです。

篠栗町は平成25年度の予算が約70万円で、換金は37万円と非常に少額です。介護予防を喜んで楽しんでいくということでも、この制度を実施すべきではないかと思いますが、見解をお願いします。

答 高齢者介護ボランティア制度は非常に素晴らしいと思いますが、財源と人材確保が必要だと思えます。財源は小額で大きな効果が期待できると考えます

ので、積極的に勉強し検討したいと思っています。

平成筑豊鉄道の横領問題

問 まだ原因究明には至っていないと思いますが、

が、事件を起こした人が、何時から勤めて、どの業務を何年間やってきたのか、きちんと突き止め、対策を考えていただきたいと思えます。また現金を取り扱う所は、全て調査をしたうえで、対策を立てていただきたいと思えます。まだ原因がはっきりしていないので、具体的な報告はできないかもしれませんが、報告書1枚で気をつけず、ではこの問題は解決しないと思えます。何年間もなぜ発見できなかったのか不思議でなりません。

福智町も負担金を出していますので、原因を究明して具体的な対策をとるようお願いいたします。以上で私の一般質問を終わります。



沼口富生 議員

空き家の防災・防犯・環境整備の対策

問 全国的にも、管理され

し、家が崩れて通行人に怪我を負わせる、また放火されるなど、社会問題化している事はマスコミでも触れられており、10年前に比べ1.7倍に急増しているようです。大きな要因として、都市部では高度成長期に建てられた家が、子どもの独立後に親が亡くなるなどして空き家となるケースが多いようです。また地方では、

過疎化が大きな要因となっています。福智町でも空き家が増加していると思いますが、その実態と内容についてお伺いします。

答 各自自治体とも非常に苦慮している状況です。福智町は、空き家の実態調査を

していませんが、行政区や近隣の住民から情報等が役場に寄せられており、約30件の空き家を把握しています。その空き家については、現地確認をして所有者等に改善通知等を出しているところ

問 福智町の実態をきちんと把握してください。国が本格的に空き家対策の法整備を行っているようです。空き家の強制撤去、調査権などが市町村に付与されることもあるかと思えます。法の内容についてご存知であれば、説明をお願いします。

答 国は、全国統一した空き家対策の推進を目的として、特別措置法案が国会へ提出されることとなっています。この法律の中で、市町村へ与えられる権限の1

つとして、老朽化し倒壊する危険がある空き家、また環境や衛生を損なっている

空き家などを、市町村が特定空き家に指定することにより、空き家の所有者に対して除去や修繕、立木の伐採などの指導助言、さらには勧告命令の権限が認められることとなります。2つ目は、所有者の許可がなくても立ち入り検査が可能となり、特に守秘義務が厳しい固定資産税情報についても、内部利用が認められるという内容になっています。

問 国も法整備を進めています。福智町での条例化は考えていませんか。今後のスケジュール等があれば説明をお願いします。

答 国が今、進めている空き家対策の推進に関する法律特別措置法が成立すれば、近隣あるいは先進の条例を勉強し、条例制定をしたいと考えています。

空き家の状況、実態を把握し、中身の濃い条例にしてください。

総合計画に基づいた町づくり

問 施政方針の中で、『豊かな自然と文化に包まれた福智山麓の活用』とありましたが、具体的に何を

していくのですか。
答 私は、観光のまちという発想を持っていません。観光のまちで福智町を活性化するには、少々無理があると思っています。ただし、地域振興の1つに観光というキーワードは加えていきたいと思っています。また日本航空などの提携やイベントは、交流人口を増加する手段として引き続き実施しながら、定着人口をどのように増やすのかが課題であると考えています。観光での地域振興は、田川バイパスを中心として上野・弁城地区の豊かな自然を利用

下田川ごみ処理施設問題

し、温泉や名所旧跡を兼ね合わせていきたいと考えています。そのためには、まず環境整備が最初に来るのではないかと考えています。

問 環境整備については、最低できる範囲のものを、どうにかしてほしいと地域の人からも言われています。財源の問題はありますが、環境整備が第一であるならば、少なくとも草刈りや循環道路の整備などは、すぐにでも実施できるのではないかと思います。

【町長】

答 上野峡周辺を歩いて見ましたが、同じような感想を持っています。環境整備の必要性は感じていますが、今後の課題として取り組みたいと思います。ただ上野地区の道路拡幅は、厳しい状況であると伺っていますが、福智町にとって観光財産であることは間違いない事実であると認識しています。

様々な経過をたどって、川崎町と田川市と下田川に各1カ所、計3カ所のごみ処理施設、焼却場を造るように進んでいます。すでに川崎町では、用地買収も済んだということも聞いています。

問 福智町の財政事情を考えると、本当にこれでいいのかと私は思います。建設費の問題や人件費を含む運用費用の問題、さらに町長の施政方針にもあったように、人口減少は明らかです。この様な状況でごみ処理施設を3カ所もつくっていいのか、住民にとって本当にこれでいいのか、考えなければならぬと思います。

要望書もいただきました。その内容は福智町の財政を特に心配しており、3カ所ではなく2カ所、1カ所では出来ないのか、リサイクル問題も含めた要望があつており、町民の方も心配しています。

【町長】

責任で作成するものとなっております。ただしこの作成の義務はないようです。しかし、一般廃棄物処理事業に要する経費やコストを行政がみずから把握することで、ごみ有料化等の施策検討をする際に活用ができて、また新規施策実施前後における効果の把握など、色々活用することができそうです。しかし現状として、導入している自治体は非常に少ない状況です。下田川清掃施設組合としても、この作成に試みたようですが、時間および費用がかかるため、導入には至っていません。

あつており、町民の方も心配しています。町長の思い、考え方を聞きします。

【町長】

ごみ処理場は、田川の中で全部ができれば4箇所となり、それだけの数が必要かという点に関して、いろいろ議論があると思います。しかし各自治体では方向性がすでに出ており、下田川清掃施設組合が一番対応が遅れていると認識しています。

ごみ焼却場の建設に関しては、ごみを1つの資源として見て、どこまでリサイクルすることができるとかという視点が必要だと思っています。

スケジュールでは建設予定地、焼却処理方法等これから決めていく状況です。

問 多くの町民の方々が、福智町の財政事情等を考え心配しています。福智町にとって、住民にとって、より良いごみ施設の再

定地、焼却処理方法等をごみ焼却場の建設に関しては、ごみを1つの資源として見て、どこまでリサイクルすることができるとかという視点が必要だと思っています。

検討と、また多くの人から要望があることを認識していただき、ごみ処理・ごみ焼却場の問題に対処していただきたいと要望いたします。



木村幸治 議員

施政方針を聞いて

問 嶋野町長として、町づくりをどのようにしていくのか率直にお答えください。

【町長】

活力ある福智町を第一に考えています。活力の定義ですが、各町民が不公平感のない町、そして前向きにしっかりと生きる姿勢を貫いていける町が活力であると考えています。

問 将来このような町にしたいという思いはありますか。

【町長】

子育てがしやすく、福祉が充実している町にしたいという思いはあります。特に教育も含んだところで子育ての充実を掲げ、人口減少の歯止めをかけたいと考えています。

問 年々人口は大幅に減っています。福智町として人口はどれくらい確保し、そのためにはどういった手段をとりたいというように考えはありますか。

【町長】

人口をこの程度確保したいという状況までは考えていませんが、先般の報道で、消滅可能自治体の中に福智町が入っていました。私としては、少なくとも現在の人口の減少に、歯止めができればと考えています。そのためには子育ての環境、そして若い世代の流入、人口増加を図りたいと考えています。

く施策を行い、福智町に行けば子育てが充実しているという状況をつくっていくことだと思っています。

ゴミ処理施設

問 今まで設立されたゴミ処理施設は、公衆衛生の向上、そして公害問題の解決というような観点でした。近年では、国が3Rを新しく設けているみたいですが、これはリデュース（発生抑制）、リユース（再利用）、リサイクル（再生利用、再資源化）、これら3つのRを含めた3Rという、新しい一般廃棄物の会計基準ができてくるようすがご存知ですか。

【町長】

一般廃棄物の会計基準の作成については、地方自治法第245条の4の第1項の規定に基づいて、技術的助言という位置づけになっており、一般廃棄物会計基準に基づく財務処理は、市町村がみずからの判断と

責任で作成するものとなっております。ただしこの作成の義務はないようです。しかし、一般廃棄物処理事業に要する経費やコストを行政がみずから把握することで、ごみ有料化等の施策検討をする際に活用ができて、また新規施策実施前後における効果の把握など、色々活用することができそうです。しかし現状として、導入している自治体は非常に少ない状況です。下田川清掃施設組合としても、この作成に試みたようですが、時間および費用がかかるため、導入には至っていません。

問 導入は可能だと思いつつ、今後、環境アセスを行う中で、地元住民などに関する大事な資料となります。ぜひ取り組んでいただきたいと思つています。

総合計画にも人口問題は掲載されていたと思

人口減少問題

総合計画にも人口問題は掲載されていたと思

うのですが、取り組みはどのようなものがありますか。

【まちづくり総合政策課長】

人口を増加させるためには、企業の誘致、その他子育て支援や環境整備、生活環境、住環境の整備が大事であり、それを整備することによって、人口の定住促進を図るとなっています。

問 子育て世代、つまり子どもをつくり育てていく20代から30代の女性を、いかに確保するかが町の人口を維持するための有効な手段だと思つています。それに対して、どのような手段をとればよいのか考えていかなければなりません。確かに住宅の定住も一つの手段であるし、企業誘致もそうです。やはり働く場所がなければ定住できません。しかし現状からいくと、なかなか企業誘致は非常に難しい状況にあると思つています。町長は、どのような手段を

農業対策

考えていますか。

【町長】

福岡県で人口増加となつていくところは福岡市のみであり、他市町村は人口減少が続いています。それを食い止めるには、やはり子育ての充実を図ることだと思つています。子育て、また定住化についても大胆な政策を図る必要があると考えています。

問 町長の施策方針の中で、特産物、そして地域の担い手の確保とありました。しかし現状では、これによる農業の振興は難しいと思つています。もっと具体的に、即効果の上がる手段をとるべきです。福智町には多くの水田面積があります。今はほとんどで水稲を作付していますが、一部減反で大豆をつくつています。しかし裏作に麦を栽培できるところは、極力麦を栽培すべきだと思つています。

また個人が栽培するように推進すべきです。裏作です。麦を刈った後の稲作の間をとり、それを第三者がつくると、第三者の方のトラブルが発生する可能性もあります。今は裏作助成金という形で国から出ていますが、ぜひこういう形で麦作の振興を図りたいと考えています。方城、金田地区では相当数の面積で麦の栽培が行われていると思つています。栽培の数値は分かれますか。

【農政課長】

田に対する麦作の%でお答えします。平成24年6月収穫だと、赤池地区は35%、金田地区は72%、方城地区は55%となつており、全体で50%の麦作の作付となっています。

問 麦をつくることによつて、所得はもろろん増えますが、水田の土質も非常に良くなります。ぜひ技

術指導を農家に行い、麦作の振興を図っていただきたいと思います。また、施設整備についてはですが、金田・方城地区は麦作が盛んなため、施設が整備されています。しかし、赤池地区は整備されていません。赤池地区についても、麦の乾燥施設の整備をお願いしたいと思いますが、町長の見解はいかがでしょう。

【町長】担当課と協議をしながら、検討していきたいと思いますが、赤池地区についても、麦の乾燥施設の整備をお願いしたいと思いますが、町長の見解はいかがでしょう。

【農政課長】多面的機能の支払交付金についても触れていましたが、これについては認定農業者や集落営農組織に対しての説明会が開かれており、私も参加しました。説明会の中で、国からの助成金として、地域に交付される多面的機能支払交付金などがあるようでしたが、説明をお願いいたします。

【農政課長】本年度からの新たな

【農政課長】本年度からの新たな

【総務課長】徴収は現年度分と過年度分がありますが、現年度分は5月31日が出納期限です。調定額の総額30億8,764万6,507円に対し、3月末現在の収入額28億2,237万4,072円で、未納額は2億6,527万2,435円です。あと2カ月で徴収できない分が累積赤字となります。

【町長】一年間で3億円近い赤字があつて、それが毎年累積して大変な数字になる。徴収ができていないというところは、職員の怠慢と等しい。今までにどのくらい滞納があるのか。これは福智町にとっては大きな障害です。

【町長】あると思っています。遺跡周辺の家屋土地の買い取り、駐車場や道路整備も必要になり、この城山横穴群を整備するの

農業農村政策として、4つの改革があります。その一つに、日本型の直接支払制度創設というものがあり、これは農業の多面的機能の維持を発揮するための地域協働活動による事業です。

【町長】町内に該当する地域はたくさんあると思います。すでに申請した地区もあり、該当する地域でありながら申請されていないところもあるかと思えます。ぜひ地域に行政から働きかけ、この事業の周知徹底をお願いしたいと思います。

【農政課長】機会があるごとに、水利組合や認定農業者、担い手、組織などにも説明をしていきたいと思います。

【町長】過去、労務職の方が一般職員となる試験が行われたことがあります。労務職の方の中には、ぜひ一

【農政課長】機会があるごとに、水利組合や認定農業者、担い手、組織などにも説明をしていきたいと思います。

【町長】私は8年間近くこのことを言ってきたが改良しない。なら議員は、議会は何をするのか。

【町長】私は旧金田町が再建団体になつたとき、職員と一緒に一致結束して行つてきた。町民から文句も言われ恨まれましたが、町政のために一生懸命に訴え努力した。

【町長】職員は、それぞれの持ち場を精一杯の力、気持ち、技量で全うしないと、徴収率というものは簡単には上がらない。そのことは忘れないでください。

【町長】この遺跡は平成20年に確認され、今年、国指定の遺跡となりますが、予算をつけて果たしてメリットがあるのかお聞きします。

【町長】あると思っています。遺跡周辺の家屋土地の買い取り、駐車場や道路整備も必要になり、この城山横穴群を整備するの

【町長】あると思っています。遺跡周辺の家屋土地の買い取り、駐車場や道路整備も必要になり、この城山横穴群を整備するの

【町長】前向きに検討していきたいと思っています。

【町長】合併してから少人数学級を行つてきました。成果についてはどのよう

【町長】町の任用講師を採用して、各学校の学力の向上、学校経営の改善を行つてきました。学力の面では、年々少しずつ上がってきています。

【町長】北九州市では小学校36校ほどが、時間外に教師・大学生などを任用して塾を開き、集中的な指導を行い、学力の向上を図る取り組みを始めたそうです。福智町で、このような取り組みは考えていませんか。

【町長】北九州市では小学校36校ほどが、時間外に教師・大学生などを任用して塾を開き、集中的な指導を行い、学力の向上を図る取り組みを始めたそうです。福智町で、このような取り組みは考えていませんか。

【町長】北九州市では小学校36校ほどが、時間外に教師・大学生などを任用して塾を開き、集中的な指導を行い、学力の向上を図る取り組みを始めたそうです。福智町で、このような取り組みは考えていませんか。

【町長】北九州市では小学校36校ほどが、時間外に教師・大学生などを任用して塾を開き、集中的な指導を行い、学力の向上を図る取り組みを始めたそうです。福智町で、このような取り組みは考えていませんか。

【町長】北九州市では小学校36校ほどが、時間外に教師・大学生などを任用して塾を開き、集中的な指導を行い、学力の向上を図る取り組みを始めたそうです。福智町で、このような取り組みは考えていませんか。

【町長】北九州市では小学校36校ほどが、時間外に教師・大学生などを任用して塾を開き、集中的な指導を行い、学力の向上を図る取り組みを始めたそうです。福智町で、このような取り組みは考えていませんか。

【町長】北九州市では小学校36校ほどが、時間外に教師・大学生などを任用して塾を開き、集中的な指導を行い、学力の向上を図る取り組みを始めたそうです。福智町で、このような取り組みは考えていませんか。

【町長】北九州市では小学校36校ほどが、時間外に教師・大学生などを任用して塾を開き、集中的な指導を行い、学力の向上を図る取り組みを始めたそうです。福智町で、このような取り組みは考えていませんか。

【町長】学力補充学級は、北九州市だけではなく、田川郡内では糸田町と大任町でも行っています。大任町は未



属公弘 議員

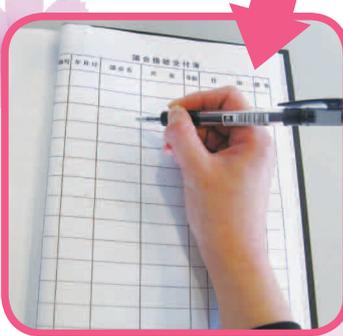
本会議開催中は、どなたでも傍聴できます。
身近な問題が話し合われていますので、ぜひお越しください。

傍聴に 来ませんか

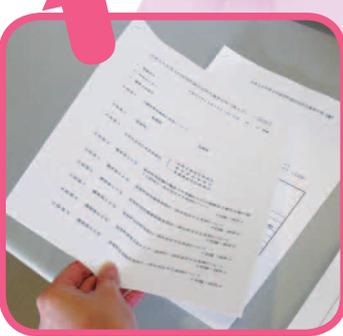
議場は本庁舎4階です。



傍聴人受付簿に、氏名・
年齢・住所を記入します。



資料は自由にお取り
ください。



議場(傍聴席)入り口です。
出入りは自由です。



※各常任委員会も、委員長の許可後、委員会室(4階)で傍聴できます。
※本会議を傍聴する際は、議会傍聴の注意を守っていただきます。

編集後記



秋は運動会のシーズンですが、春の5月25日に一足早い弁城小学校の運動会が行われました。

小学生になって間もない新生年も、大変ながら一生懸命がんばっていました。

弁城小学校の運動会は、学校、保護者、地域がひとつになって行われます。中でも、弁城区杯は地区が一丸となって行う競技です。弁城には7常会あり、各常会から選手が出ます。常会ごとにテントを張り、その前を通過するときには声援が飛び交い、なお一層選手もがんばり、笑いも起きます。

竹馬の競技では、乗っては何度も落ちながらも、諦めずに最後までやり遂げる保護者に感動しました。



今年度は、消防団第7分団の方にも参加していただき、ホースをバトンにして、消

防団リレーも行われました。学校の広報に子どもたちが、大きくなったら消防団に入るとい言葉が載っており、本当に嬉しく思いました。



弁城小学校は運動会だけでなく、色々な行事に地域が携わっています。『子に勝る宝なし』という言葉がありますが、子どもたちに全力で愛情を持って接していく地域です。私も弁城小学校の卒業生として、誇りに思います。

これからも地元を愛し、地域活性化に努めていく所存です。

堀江 政洋



▲消防団もがんばった弁城小学校運動会。
大きな声援が飛び交いました。

広報特別委員会

- 委員長 日比生 洋一 ●副委員長 磯崎 正榮
- 委員 堀江 政洋 ●委員 渡邊 文敏 ●委員 属 公弘 ●委員 大島 勇夫